

山口県宇部市の津田剛氏のHPより



上の作品は、第11回全国印章技術大競技会における最高賞、鈴木先生の労働大臣賞受賞作品です。

最近の小篆の作品は上位作の作風が統一されてきた様な感もありますが、先生の作品はひと際独特な光を放ち、当時より高い評価をうけられており同じ印刻師としても羨ましく思っておりました。

鈴木先生の作品の特徴は、文字の形もそうなのですが、特に線質が独特で極めて個性的なところ です。

全国印章技術大競技会や大印展は、審査の公平を期す為に出品者が誰なのかわならないようにと無記名にて出品し審査されます。

ところが先生の作風は、同じ課題を彫刻された数多くの作品の中でも、印影を観るだけで一目で先生の作品だと分かりますので、無記名の意味がないのではないかと思えるほど個性的です。

印章業の世界でも独自の作風を称する人はみられますが、先生の作品が特に素晴らしいのは独特でも決して我流ではなく、正統で客観的に多くの印刻師からも認められている数少ない作風だと言うところだと思います。